

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道55号 <small>なんこくあき</small> 南国安芸道路(芸西西～安芸西) <small>げいせいにし あきにし</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：高知県安芸郡芸西村西分 至：高知県安芸市馬ノ丁	延長	8.5km		
事業概要					
<p>一般国道55号南国安芸道路は、高規格幹線道路網を構成する自動車専用道路として整備される高知東部自動車道の一部であり、四国横断自動車道及び阿南安芸自動車道と一体的に機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、規格の高い信頼性のあるネットワークを延伸し、高知東部地域と高知中心部の連携強化を図るほか、災害時における広域交通ネットワーク確保を目的とする高規格幹線道路である。</p> <p>また、南海トラフ巨大地震などの災害発生時の広域交通ネットワークとしての役割も担っており、更には高知市に集中している救命救急を担う第3次医療施設への速達性の向上や、地域間の円滑な交通流動の確保を目的としている。</p>					
H23年度事業化		H11年度都市計画決定 (H一年度変更)		H一年度用地着手	
				H一年度工事着手	
全体事業費		355億円		事業進捗率	
				約1%	
計画交通量		10,500～12,100台/日			
費用対効果分析結果		B/C		総費用	
		B/C		総費用	
		2.2		288/296億円	
		2.2		総便益：645/645億円 走行時間短縮便益：549/549億円 走行経費減少便益：73/73億円 交通事故減少便益：23/23億円	
				基準年：平成25年	
感度分析の結果					
【事業全体】交通量：B/C=1.8～2.6（交通量 ±10%） 事業費：B/C=2.0～2.4（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=2.1～2.3（事業期間±20%）					
【事業】交通量：B/C=1.8～2.7（交通量 ±10%） 事業費：B/C=2.0～2.5（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=2.1～2.4（事業期間±20%）					
事業の効果等					
南海トラフ巨大地震による津波浸水被害が予測される地域に対して緊急輸送道路の代替機能を確保し、県東部地域へのアクセス向上による地域の産業・観光振興の支援など、多様な整備効果が期待できる。					
①円滑なモビリティの確保					
<ul style="list-style-type: none"> ・現道等の時間損失の削減が見込まれる ・現道等のバス路線の利便性や快適性の向上が見込まれる ・JR後免駅へのアクセス向上が見込まれる ・高知龍馬空港へのアクセス向上が見込まれる 					
②物流効率化の支援					
<ul style="list-style-type: none"> ・高知県東部における農林水産品（ゆず、なす、ブリ等）の流通の利便性向上が見込まれる 					
③国土・地域ネットワークの構築					
<ul style="list-style-type: none"> ・高知市～安芸市を連絡する高規格幹線道路の一部を構成する ・高知市～安芸市を最短時間で連絡する路線を構成する ・日常活動圏中心都市（香南市）へのアクセス向上が期待される 					
④個性ある地域の形成					
<ul style="list-style-type: none"> ・香南市・安芸市・室戸市：観光振興プロジェクト、安芸市：過疎地域自立促進プロジェクト、北川村：ゆず振興プロジェクトを支援する ・高知県東部地域への観光アクセスを支援 					
⑤安全で安心できるくらしの確保					
<ul style="list-style-type: none"> ・安芸市から第三次救急医療施設（高知赤十字病院、高知医療センター）への搬送時間が短縮し、重篤患者の救命率向上が見込まれる 					
⑦災害への備え					
<ul style="list-style-type: none"> ・孤立化する芸西村、安芸市の集落を解消する ・国道55号は第一次緊急輸送道路に位置づけられている ・現道である国道55号が浸水等により通行止めになった場合の代替路を形成 					

・南海トラフ巨大地震発生時の津波浸水想定区域を回避し、浸水想定区域を通過する箇所は十分な高さを確保することで、緊急輸送道路のリダンダンシーが確保。

⑧地球環境の保全

・CO2排出量の削減が見込まれる

⑨生活環境の改善・保全

・NOX排出量の削減が見込まれる。
 ・SPM排出量の削減が見込まれる。

⑩その他

・南海トラフ巨大地震における救援ルート信頼性の向上及び、自衛隊救援活動ルートの確保

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

・高知県、安芸市、四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟より、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。

高知県知事の意見：

・事業継続に異議はありません。一般国道55号南国安芸道路（芸西西～安芸西）は、南海トラフ地震などの大規模災害時に、「命の道」となる四国8の字ネットワークを構成し、高知県東部の発展に重要な役割を果たす路線であることから、早期の供用を目指し、より一層の事業進捗をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

・「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・平成22年6月～平成23年6月 高速道路無料化社会実験（高知IC～須崎東IC）実施
 ・平成23年3月 高知東部自動車道（香南やすIC～芸西西IC）L=3.9km 2車線開通
 ・平成24年3月 高知東部自動車道（香南かがみIC～香南やすIC）L=2.9km 2車線開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

・平成25年5月末で用地取得率0%、平成25年3月末で事業進捗率約1%。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・平成23年度より新規に着手した事業で、地元設計協議を実施中であり、平成25年度より用地買収に向けた手続きに着手。

施設の構造や工法の変更等

・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

・以上の事業効果等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。